

## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月10日

上場会社名 株式会社銀座山形屋 上場取引所 東  
 コード番号 8215 URL http://www.ginyama.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小口 弘明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 渡邊 光潤 TEL 03-6866-0276  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	3,949	△7.1	28	△81.3	86	△58.2	△22	-
2019年3月期第3四半期	4,252	4.6	153	△2.3	205	△1.3	150	1.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △50百万円 (-%) 2019年3月期第3四半期 81百万円 (△66.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△12.94	-
2019年3月期第3四半期	87.36	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	5,077	3,095	61.0
2019年3月期	5,214	3,232	62.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 3,095百万円 2019年3月期 3,232百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	0.00	-	50.00	50.00
2020年3月期	-	0.00	-	-	-
2020年3月期 (予想)	-	-	-	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	△6.9	△10	-	50	△71.4	△50	-	△28.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 社（社名）、除外 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3 Q	1,804,471株	2019年3月期	1,804,471株
② 期末自己株式数	2020年3月期3 Q	79,218株	2019年3月期	79,116株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3 Q	1,725,338株	2019年3月期3 Q	1,725,447株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 業績の状況 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
3. その他 .....	8
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦問題や中東の情勢不安、英国のEU離脱などの影響から先行き不透明な状況にあるものの、国内では企業収益の回復、雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復基調が続いております。一方、当社を取り巻く環境におきましては、消費税率引き上げ後の消費者マインドの動向や自然災害のリスクとともに、オーダーメイドスーツにおける企業間競争が一段と厳しさを増し、厳しい経営環境が続きました。

このような環境のもと当社グループは「安定した利益とキャッシュ・フローを出せる経営基盤の確立」の方針のもと、収益力向上に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,949百万円(前年同四半期比7.1%減)となりました。

オーダーメイドスーツ売上高は、1着当たりの販売単価はアップしておりますが各販売セグメントの数量が大きく減少し、縫製事業4工場の生産活動への影響により売上総利益率が0.9ポイント減少しました。また、販売費及び一般管理費は全てのコストを現場段階から見直すことに努めましたが、経常利益は86百万円(前年同四半期比58.2%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は減損損失の計上もあり22百万円(前年同期は150百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### 小売事業

オーダーメイドスーツの売上は客数減少により売上高、営業利益ともに減収減益となりました。

その結果、売上高は2,203百万円(前年同四半期比6.7%減)、営業利益101百万円(前年同四半期比39.1%減)となりました。

#### 卸売事業

売上高は催事先の卸売単価の増加があったものの、販売数量が減少したことによる影響により減収減益となりました。

その結果、売上高1,032百万円(前年同四半期比4.4%減)、営業利益6百万円(前年同四半期比52.7%減)となりました。

#### 受託縫製事業

オーダーメイドスーツ他の受注数量が大きく減少したことにより減産・稼働日変更等、効率的生産ができず製造コストの増加により減収減益となりました。

その結果、売上高2,254百万円(前年同四半期比5.8%減)、営業損失55百万円(前年同は16百万円の営業利益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して136百万円減少し、5,077百万円となりました。

資産の部では、流動資産が前連結会計年度末と比較して97百万円減少しました。受取手形及び売掛金が減少し、前払費用(流動資産その他を含む)が前連結会計年度末と比較して増加したこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して39百万円減少しました。主な要因はソフトウェア(無形固定資産その他を含む)の増加及び投資有価証券の時価の減少によるものであります。

負債の部では、前連結会計年度末と比較して買掛金の増加及び前受金等の減少(流動負債その他を含む)はありましたが、1,982百万円となりました。

純資産の部においては、主に親会社株主に帰属する四半期純損失22百万円の計上をした一方で、剰余金の配当86百万円を行った結果、当第3四半期連結会計期間末の株主資本は、前連結会計年度末と比較して108百万円の減少となりました。

また、その他有価証券評価差額金は27百万円の減少でありました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月14日に公表いたしました2020年3月期の通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,451,460	1,417,201
受取手形及び売掛金	670,240	503,600
商品及び製品	188,883	199,859
仕掛品	28,946	18,570
原材料	138,735	176,944
その他	63,006	127,986
貸倒引当金	△457	△751
流動資産合計	2,540,816	2,443,411
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	233,805	185,175
その他(純額)	358,464	352,690
有形固定資産合計	592,269	537,866
無形固定資産		
その他	19,485	62,461
無形固定資産合計	19,485	62,461
投資その他の資産		
投資有価証券	1,205,133	1,175,023
敷金及び保証金	716,724	704,800
繰延税金資産	27,036	27,631
その他	113,761	135,914
貸倒引当金	△433	△9,128
投資その他の資産合計	2,062,221	2,034,241
固定資産合計	2,673,977	2,634,569
資産合計	5,214,793	5,077,981
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	300,710	363,211
未払法人税等	24,231	15,565
ポイント引当金	52,562	46,418
その他	633,469	607,898
流動負債合計	1,010,975	1,033,094
固定負債		
繰延税金負債	38,125	32,849
役員退職慰労引当金	100,515	104,515
退職給付に係る負債	584,365	566,476
資産除去債務	207,915	206,268
その他	40,761	39,161
固定負債合計	971,683	949,271
負債合計	1,982,658	1,982,366

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,727,560	2,727,560
利益剰余金	498,309	389,712
自己株式	△81,154	△81,325
株主資本合計	3,144,715	3,035,948
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	87,419	59,666
その他の包括利益累計額合計	87,419	59,666
純資産合計	3,232,135	3,095,615
負債純資産合計	5,214,793	5,077,981

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	4,252,544	3,949,971
売上原価	2,027,596	1,918,132
売上総利益	2,224,947	2,031,838
販売費及び一般管理費	2,071,120	2,003,029
営業利益	153,826	28,809
営業外収益		
受取利息	22	89
受取配当金	31,613	31,338
受取手数料	13,857	13,468
受取保険料	1,918	1,215
助成金収入	3,925	7,881
雑収入	2,805	4,713
営業外収益合計	54,143	58,706
営業外費用		
支払利息	529	487
修理費	1,448	345
雑損失	-	610
営業外費用合計	1,977	1,443
経常利益	205,992	86,071
特別損失		
減損損失	-	79,542
特別損失合計	-	79,542
税金等調整前四半期純利益	205,992	6,528
法人税、住民税及び事業税	50,331	31,361
法人税等調整額	4,918	△2,503
法人税等合計	55,250	28,857
四半期純利益又は四半期純損失(△)	150,742	△22,329
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	150,742	△22,329

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	150,742	△22,329
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△69,461	△27,752
その他の包括利益合計	△69,461	△27,752
四半期包括利益	81,281	△50,082
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81,281	△50,082



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	2,361,971	1,079,756	807,520	4,249,248
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	1,585,455	1,585,455
計	2,361,971	1,079,756	2,392,975	5,834,703
セグメント利益又は損失(△)	166,223	14,456	16,510	197,190

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	197,190
棚卸資産の調整額	1,870
その他の調整額	△1,453
全社収益(注1.)	217,817
全社費用(注2.)	△261,597
四半期連結損益計算書の営業利益	153,826

(注1.) 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

(注2.) 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	2,203,631	1,032,753	710,046	3,946,431
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	1,544,292	1,544,292
計	2,203,631	1,032,753	2,254,338	5,490,723
セグメント利益又は損失(△)	101,163	6,835	△55,340	52,659

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	52,659
棚卸資産の調整額	187
その他の調整額	△930
全社収益(注1.)	220,823
全社費用(注2.)	△243,930
四半期連結損益計算書の営業利益	28,809

(注1.) 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

(注2.) 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「受託縫製事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの工場で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した工場について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として26,897千円特別損失に計上いたしました。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローに基づく評価額がマイナスであるため、回収可能価額は零として算定しております。

また「小売事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として52,644千円特別損失に計上いたしました。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローに基づく評価額がマイナスであるため、回収可能価額は零として算定しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。